

河合地区の取組

①河合地区の概要、コロナ禍での公民館活動について

(平井博政館長より紹介)

令和3年の4月から館長に就任し、8月までコロナで様々な公民館活動が制限された中でのスタートとなった。しかし、「コロナだからできない」ではなく、「コロナだからできること」をやろうと考え方を切り替えて、新しい取組にチャレンジした。田んぼの中で花火を打ちあげたり、高屋地区のひまわり畑をドローンで空撮し元気ができる動画の配信などを行った。

また、自治会長や自主防災会にLINEの登録を呼びかけ、今では河合地区の約1,200世帯中、650世帯と半分以上世帯のどなたかには登録してもらっている。

駐在所と連携した地区的交通事故やワクチン注射予約の情報など役立つ情報提供のほか、心がほっとするような内容も送るよう心掛けている。

あるものをフル活用し、河合地区っていいところだなと思つてもらえるよう前向きに取り組んでいる。



②LINEを活用した防災事業について

(藤田育代主事より紹介)

10年前の東日本大震災を機に、地区住民として感じていた地域課題「防災強化」に、主事1年目から教育事業として取り組んだ。最初は熱意だけで突っ走り、たった1人の自治会長が賛同してくれたことから各自治会に連鎖反応が広がつていった。3年目に自治連から自主防災会が独立し、4年目に地区団体として予算が付くなど、公民館が自主防災会と密接に関わりを持ちながら少しづつ組織を作つていった。

助成金を活用して倉庫などのハード面も整えながら防災

訓練を重ね、河合小学校が授業の一環として訓練に参加するなど、参加者も増えていった。そのような中で襲われたコロナ禍により連絡会議や回覧板までストップし、迅速な情報共有ができなくなつた。緊急時の連絡手段としてのSNS(LINE)の必要性を感じたが、いきなりLINE登録を呼びかけても普及しないのでは…先ずは、関心をもつてもらえそうな屋外イベント「ほっとコンサート&悪疫退散花火」をSNSで生配信。1年かけて、公民館だよりなどを利用し登録者数を増やし、2021年6月にLINEを使った「緊急連絡配信訓練」を河合地区防災訓練として実施した。



2021年わが町の防災コンテスト

「コロナ禍でわかった

『SNS活用緊急連絡配信』の必要性

最優秀賞
受賞

コロナ禍での調査研究委員会 公民館視察訪問

今回約2年ぶりに調査研究委員会を開催するに当たり、このコロナ禍の中で我々の訪問を受け入れてくれる公民館があるだろうか、又どういったテーマを持って訪問先にお願いするか頭を悩ませ心配しました。「教育委員会への要望書」や「市長と語る会」等に係る市公連との合同会議席上でも、公民館より気候変動における防災事業の取り組みに関する意見が多く寄せられていたことから、訪問先を防災活動において精力的に活動している公民館にお願いしたいと考え、「LINEを活用した防災事業」を取り組み、成果を上げている河合公民館に依頼したところ、快い返事を頂きました。

訪問前の10月29日に、中央公民館事務局、生涯学習課の職員の方と河合公民館にお邪魔し、当日の内容等の打ち合わせを行いましたが、その席上でも平井館長の公民館愛、藤田主事の公民館事業や防災事業等に関する熱意が伝わる会議となり、当初予定していた時間を大幅に上回るものでした。

11月26日(金)河合公民館にて調査研究委員会が開催され、その内容については想像以上に大変素晴らしい意義有る意見交換の訪問となり、調査研究委員の方々の質問にも的確にお答え頂きました。

訪問後に河合公民館が文部科学省の優良公民館表彰において優秀館を受賞されたことを聞き、喜ぶとともに祝い申し上げ、訪問できたことを心から感謝しております。

(調査研究委員会委員長 深草 光夫)



住民目線で公民館事業への関わり

コロナ禍の中で、公民館は出来る範囲で事業を展開しています。新聞等で各公民館や住民の皆さんの活動が紹介されていることに地域のパワーを感じます。携わっておられる公民館の皆様ご苦労様です。

一方、住民の目線で事業を考えると、コロナ禍の中で地区住民は公民館に何を期待しているのか、何を求めているのか、という視点に立った事業の取組が必要だと考えます。それは、ひとつには情報の提供だと考えます。地域で集まる機会がない中、地域の情報、公民館の活動の情報をいち早く住民に届けることが地域の安全・安心を守ることになり、公民館が地域のセンターとしての役割を果していくのではないでしょうか。河合公民館は防災事業として取り組んだ防災伝達機能として『LINE』を使った情報発信を行っています。現在、全世帯の半数以上の650名の登録数になっており、毎月、5



~10件の情報を発信しています。

運営審議委員会は、住民の目線で公民館事業の取組に、館長・主事と意見を戦わせながら進めています。

先日、活動が評価され、文部科学省の優良公民館優秀賞を受賞しました。運営審議委員会でもこの快挙に驚きと喜びで祝福されました。関係各位の皆様に心から御礼申し上げます。このことは、館長・主事の地区を良くしようという思いを持って、豊かな発想力と情熱を持って事業の取組を進めてきた結果であります。主事の行動力には頭が下がります。運営審議委員会としてお礼とお祝いを申し上げます。

(河合公民館運営審議委員長 関 英治)

令和3年度文部科学省 全国優良公民館表彰

河合公民館『音楽パワーが、住民に活力を与える…!

活きた公民館改革』

優秀館
(ベスト5!)
受賞